



## 後期に向かって ～後期始業式の発表～

< 2年 ○○○○さん >

私が後期がんばりたいことは3つあります。一つ目は、算数と国語の全校テストで100点をとることです。とくに算数をがんばりたいです。100点をとるために、チャレンジノートで練習して、指を使わないで計算できるようになりたいです。かん字は、よく見ていねいに書きたいです。二つ目は、あいさつです。大きな声で言える時もあるけれど、朝、元気がない時もあるからです。いつでも元気にあいさつしてあいさつ名人になりたいです。三つめは、花火せんげんです。私のもくひょうは、「あやとび10回」です。まだ一つもたっせいしていないので、東小タイムに上手な人におしえてもらってれんしゅうしたいです。前期は楽しいことがたくさんありました。後期も楽しいことをいっぱいにできるようにがんばりたいです。



< 4年 ○○○○さん >

私が前期がんばったことは、マラソン大会の練習です。大会の日にはきんちょうして、走るのがこわかったけれど、たくさんの人たちに応援されてとてもうれしかったです。練習の時に歩かないようにがんばって走りました。そのがんばりを続けることができてよかったです。

後期がんばりたいことは、全校テストで合格することです。前期は、あまり合格できなかったのので、後期は前期よりたくさん合格したいです。そのために、「はっぴいノート」にたくさん勉強をがんばりたいです。マラソン大会の時のようにがんばりを続けていきたいです。



< 6年 ○○○○さん >

ぼくが前期がんばったことは、「思いやり、支え合い、あこがれの的になる」という学級目標に近づけたことです。下級生に掃除のしかたを教えてあげたり、ドル走でよさを伝え合ったり学習発表会でお客さんを楽しませることができるよう演技して「こんな上級生になりたい」と思ってもらえたりしました。

今日から後期がスタートしました。卒業までの91日間がんばりたいことは、「3つの瞳」を身に付けることです。特に「たくましい瞳」の「あせらずに一歩一歩」を目指していきます。ぼくは、家庭学習で漢字練習などをくり返しやらずにかんたんにすませてしまうことがあります。それだと、勉強したことがしっかり身に付かないと気付きました。後期は、じっくり、ゆっくり、ていねいに学習に取り組みたいと思います。

みんなで、しっかり勉強を身に付けて後期もがんばっていきましょう。



## ちょっと 「雑談」していますか？

「雑談していますか？」いきなりの質問でしたが、「雑談はとても大事なものですよ。」「雑談しましょう。」というお話をさせていただきます。

雑談はたわいもないことを話題にした中身も結論もないお話です。しかし、雑談には人と人をつなぐ大きな意味があります。

私たちが初対面の人と会って話す時、いきなり雑談はしません。雑談は、それなりの関係性が築かれ安心感があってできるものだからです。何度か会って関係性が築かれると、雑談も出るようになってきます。会って会話をして雑談できるようになると、お互いの人となりがわかり合えるようになって、距離が縮んでいきます。

雑談の内容をいちいち覚えてはいません。しかし、同じ場において直接声を交わす雑談は「言葉のやり取りをしながらの心の交流。」という意味をもっています。

「よーし、雑談するぞ。」というものではありませんが、自然と雑談ができるといいですね。子育てをしていると、つい「～しなさい。」「早く～。」「～した？」と命令や指示・注意が多くなってしまいます。子どもさんと雑談しましょう。お互い、心がフワッと軽くなるでしょう。

